

様式 1 - 1 及び様式 1 - 2 の記載上の注意について  
( Word 文書にて作成する場合 )

平成 1 5 年 9 月  
製 造 産 業 局  
資 源 エ ネ ル ギ ー 庁

用途証明書の申請に係る「様式 1 - 1」及び「様式 1 - 2」(用途証明申請書)について、Word 形式のフォーマットを利用して記載・作成を行った場合に、以下のようなミスが発生する可能性があります。

当該ミスを含む申請書については補正が求められることとなりますので、ご留意下さい。

(発生するミスの事例)

- 1 . 注書き部分は、様式 1 - 1 は(1)～(7)とあるべきところ、(8)以降の数字が記載されている又は、様式 1 - 2 は(1)～(5)とあるべきところ、(6)以降の数字が記さされている場合

[例] 様式 1 - 2

- 注 (1) 印のある欄は、～(後略)。  
(6) 用途証明書の分割発行を～(後略)。  
(7) 申請者が法人の場合には、～(後略)。  
(8) . 2 . 「用途」欄には、～(後略)。  
(9) 石油石炭税免税引取承認申請は、～(後略)。

- 2 . 注書き部分の行頭がずれている場合

[例] 様式 1 - 2

- 注 (1) 印のある欄は、～(後略)。  
\_(2) 用途証明書の分割発行を～(後略)。  
\_(3) 申請者が法人の場合には、～(後略)。  
\_(4) . 2 . 「用途」欄には、～(後略)。  
(5) 石油石炭税免税引取承認申請は、～(後略)。

- 3 . 様式 1 - 1 の注書き(5)及び(6)中の「」欄が文字化けしている場合

[例] 様式 1 - 1

注 (5) 申請者自らが輸入する場合には、 . 1 . のチェック欄に印を付すこと。～(後略)

Word 形式のバージョン不整合等の問題から文字化けする場合には、「」とした上で、手書き(油性ボールペン等)で「√」を書き込むことで差し支えない。

- 4 . 注書き「以外」の部分において、上記 1 . 及び 2 . と類似のミスが発生している場合

[例] . 「記」部分

記

- 1 . 用途証明の種類

特定石炭又は沖縄発電用特定石炭を～(後略)

3 . 申請事項

(後略)